



小説「女がすたる」が掲載された「筑紫山脈第6号」↑

汐 町出身者が同人誌を寄贈 見集落出身の村上弘子さん

現在福岡県に在住し、文学活動で活躍される町出身の村上弘子さん（旧姓：塩見さん）が、同人誌8冊を寄贈しました。

村上さんは汐見集落の出身で、「汐見弘子」のペンネームで活動され、昨年の秋には、祖母と母のお互いが長い間自分の意見を主張し合い、譲らない様子を幼い息子の立場から描いた小説「女がすたる」で福岡市文化芸術振興財団賞を受賞。選考委員から「文章に力やユニークな表現がありテンポも良い」と評価されました。

今回いただいた同人誌「筑紫山脈」には、ご自身が執筆した小説などが各号に掲載されており、指江図書館で読むことができます。

上体起こしに挑戦する参加者↓



初 公民館対抗バレーボール大会 優勝。薄井Aと指江チーム

9月3日から7日にかけて、第7回自治公民館対抗バレーボール大会が開催されました。

今回は、Aランクに12チーム、Bランクに17チームの計29チームが出場し連日熱戦を繰り広げました。決勝は、Aランク、Bランクともにフルセットまでもつれる接戦となり、Aランクを薄井Aチーム、Bランクは指江チームが制し、ともに初優勝を飾りました。

大会の結果は次のとおりです。

Aランク〔優勝〕薄井A〔準優勝〕福ノ浦

Bランク〔優勝〕指江〔準優勝〕城川内



熱戦が繰り広げられた大会の様子↑

老 出水地区健康づくり研修会 人クラブ会員が体力測定に挑戦

出水地区老人クラブ連合会は、健康づくり研修会を9月13日、町開発総合センター大ホールで行い、約100人が参加しました。

この日は午前中に、高齢者の健康づくりについての講義、午後からは、会員らによる10種障害物歩行や握力、上体起こしなど6つの体力測定が行われました。参加した西老人クラブ会長の川添康成さんは「学生以来の体力測定で、ひざに不安があったが思ったより動けた。今後は、健康づくりサポーターとして広く活動していきたい」と話し、心地よい汗をかいていました。

ま
ち
の
話
題

2